

テーマ展
「戦後 福井の美術 前衛に生きた人々」展

座談会

「戦後 福井の美術 1960年代～」

- 月日：平成28年1月10日(日)
- 時間：午後2時から
- 場所：福井県立美術館 講堂

登壇者

水谷内 健次(写真家)、赤土 善蔵(建築家、元ギャラリー主宰者)
髭分 真二(ギャラリーオーナー)、黒原 繁夫(小コレクター)
西村 直樹(福井県立美術館主任学芸員)

無料!
申込不要



小野忠弘 《BLUE》



《私費による美術館の建設》 昭和22年(1947)
左から 松崎真一、富田惣七、玉村晋一

戦後の福井では、私費による美術館の建設や新進気鋭の中央作家を招いた講演会の開催等、既成概念を打ち破る独自の表現が花開いていた。

小野忠弘、松崎真一、富田惣七を中心として前衛に生きた人々に焦点を当て、戦後における福井の美術を紹介する。

福井県立美術館

福井市文京3-16-1
TEL0776-25-0452